

2 しみずけ うしふくけれきだいとうしゆぞう 8幅 [有形文化財（絵画）]

[所在地] 奈良市

[所有者] 個人

[時代] 桃山時代～明治時代

[概要]

本品は、江戸時代に奈良町の惣年寄を務めた、清水家・牛福家の歴代当主を描いた肖像画群である。清水家のものはいずれも紙本で、桃山時代～江戸時代初期の当主清水勝尚・宗仙から、清水正房・久枝夫妻、清水春房を経て明治時代の清水浪江に至る5幅より成る。牛福家のものはいずれも絹本で、桃山時代の牛福宗無・妙寿夫妻から、江戸時代前期の牛福了輝・月窓妙秋夫妻、牛福了叱・江月妙祐夫妻に至る3幅より成る。

とりわけ、清水勝尚・宗仙像や牛福宗無・妙寿夫妻像は細緻な筆遣いによる写実性に富む優れた作行きを示しており、桃山～江戸時代初期の町人肖像として注目される。

本品は現在もなお清水家の盂蘭盆会において懸用されており、桃山時代以来の町人層の肖像画として稀少な作例であるとともに、奈良町惣年寄家の来歴を示す歴史的意義も兼ね備えた重要な作品であると評価できる。



↑ 紙本著色清水勝尚・宗仙像



↑ 絹本著色牛福宗無・妙寿夫妻像